

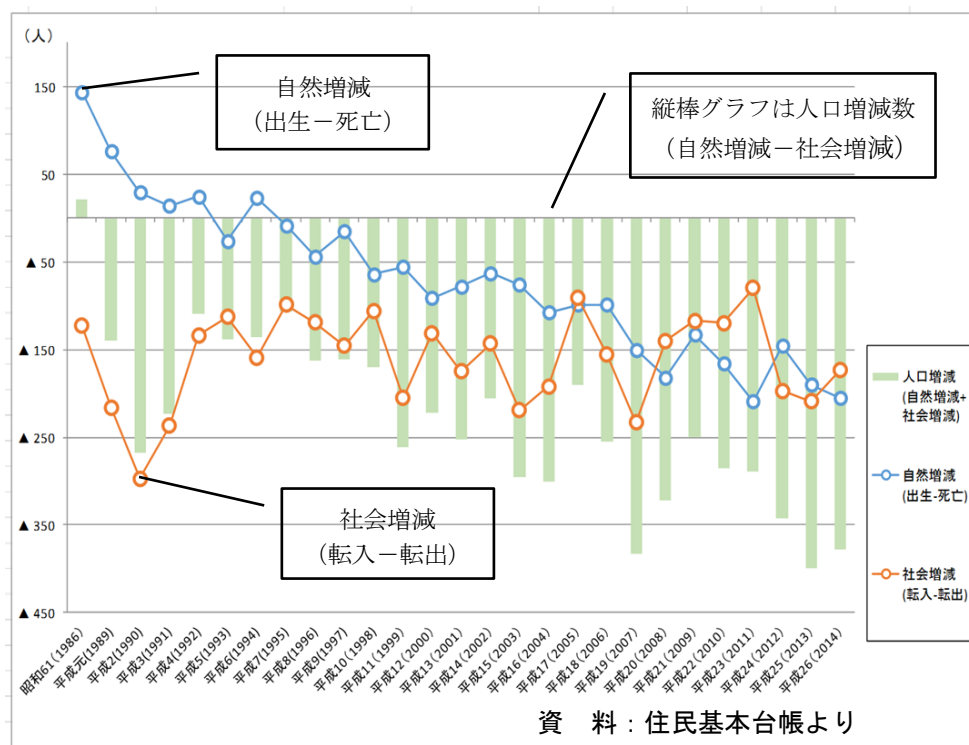
## 第1章 人口ビジョン

### ・勝山市の現状

国勢調査結果からみると勝山市の人口は昭和25(1950)年の38,962人をピークに、現在まで減少し続けている。

特に人口の社会減(転出が転入を上回る)は常に続いており、平成5(1993)年以降は自然減(死亡数が出生数を上回る)も始まって、勝山市全体の人口減少をさらに加速させている。

勝山市の人口増減の推移(自然増減・社会増減)



### ・将来人口推計

国立社会保障・人口問題研究所の平成72(2060)年までの人口推計を基礎データとし、出生率と社会増減を変化させた4パターンの人口推計を行った。

#### ①パターン1(推計人口)

国立社会保障・人口問題研究所推計値(平成25年3月公表)

#### ②パターン2(推計人口+出生率上昇)

合計特殊出生率を国の目標値に合わせ、平成37年1.80、平成42(2030)年から平成72(2060)年まで2.07を維持すると仮定。ただし現在の社会増減(転入・転出)の状況が続くと仮定。

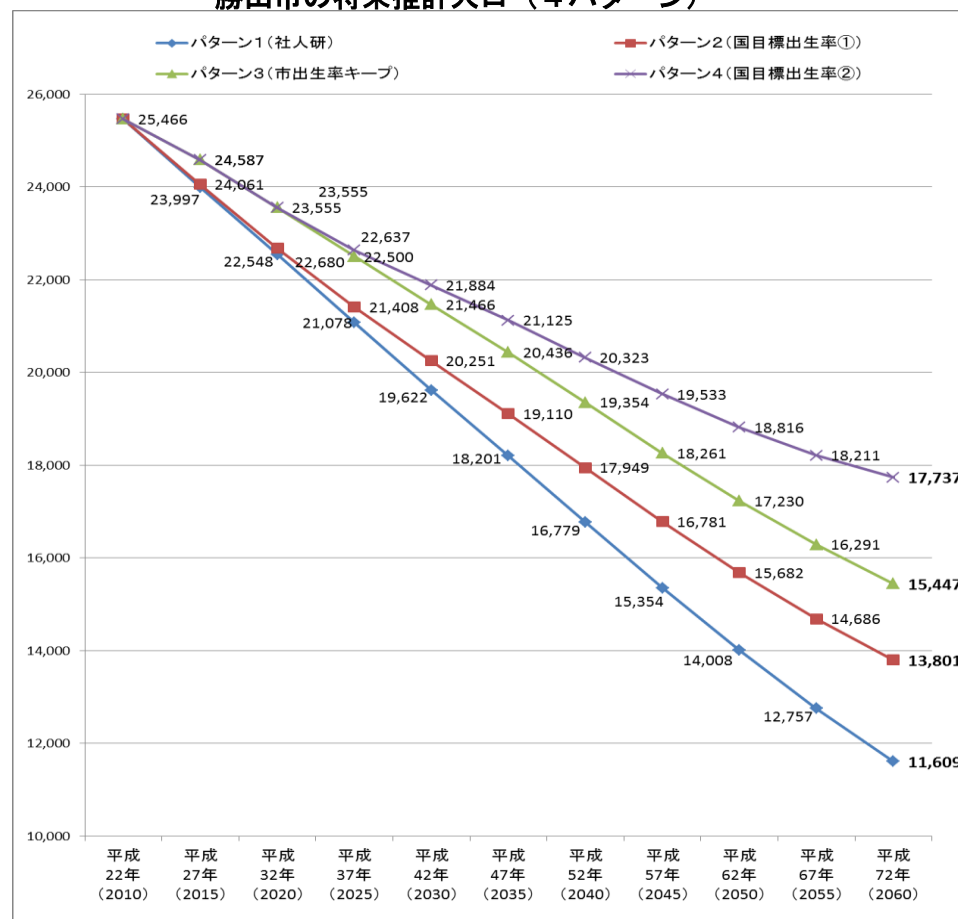
#### ③パターン3(推計人口+出生率キープ)

平成24(2012)年度の勝山市の合計特殊出生率1.53を平成72(2060)年まで維持し、なおかつ社会増減(転入・転出)が全くないと仮定した場合

#### ④パターン4(推計人口+出生率上昇)

パターン2の出生率で、社会増減(転入・転出)が全くないと仮定した場合

勝山市の将来推計人口(4パターン)



資料：平成22(2010)年は国勢調査、平成32(2020)年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(H25.3.27)を使用

### ・人口減少対策の方向性

勝山市では現在の人口を維持することは難しいと考え、今後の人口減少幅を緩やかなものにしていくことをめざす。

そのため①転出の抑制とU・Iターンの増加に向けた若い世代の雇用創出・就労支援、②出生率の維持・増加に向けた子育て、教育支援など生活環境基盤の整備の2点を人口減少問題に取り組む基本的な方向性とする。なお、人口とともに減少する域内需要を補うため交流人口の増加に努めていく。

## 第2章 総合戦略

### ①重点戦略

勝山市の総合戦略は、国の基本目標を念頭に、人口ビジョンで示した方向性に沿って、勝山市の特色を活かした4つの重点戦略と第5次勝山市総合計画をベースにした基本戦略とで構成する。

#### 【国の基本目標】

- ①地方への新しい人の流れをつくる
- ②地方における安定した雇用の創出
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### 勝山市の特色を活かした重点戦略

#### ジオパークの特質を活かした 来ておもしろく、住んでワクワクする、ときめきに満ちたまち 「オモシエかつやま」の創造

1. ジオパークの豊かな自然と暮らしの中に、人や企業の流れを創り、定住化を促進する 【国の基本目標①】
2. 勝山の地域資源を活かして、多様な仕事と需要を生み出す 【国の基本目標②】
3. 縁結びから子育て、教育まで、充実した環境のなかで次の世代を育てる 【国の基本目標③】
4. いつまでも住み続けたい、安全安心で豊かな地域コミュニティの中に「ワクワクするときめくまち」を創る 【国の基本目標④】

# 勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子(案) 2/2

## 重点戦略1

### 新しいひとの流れ

#### 1. ジオパークの豊かな自然と暮らしの中に、 人や企業の流れを創り、定住化を促進する

日本ジオパークに指定されている「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」を中心として、これまでに発掘されてきた勝山市固有の歴史、伝統文化・食・まちなかなどの魅力に加え、地質資源、自然風土等のジオパークの魅力を強力にアピールすることで勝山市への新たな定住化の流れを創る。

##### 【施策例】

- ・豊かな自然をPRし、ジオツーリズムや田舎暮らし体験など、交流人口を増やし、観光客・宿泊客の増加を図る
- ・U・I・Jターンを促進するため、勝山市出身の学生や、医療関係者への報奨金制度等の整備や市内企業の情報提供等を積極的に行う。
- ・移住関連情報発信の強化
- ・既U・Iターン者たちの交流組織の立ち上げと活動支援

## 重点戦略2

### 雇用の創出

#### 2. 勝山の地域資源を活かして多様な仕事と需要を生み出す

勝山市には恐竜博物館、スキージャム勝山、白山平泉寺、勝山城博物館など、魅力的な観光資源が多く存在し、年間100万人以上の観光客が訪れている。

これらを有効に活用し、さらなる観光客・宿泊客の増加を図るとともに、市内での消費額を増やすため観光の産業化を図り、新たな雇用の創出と確保、そして地域経済の振興を目指す。

##### 【施策例】

- ・道の駅や魅力ある地域振興施設を整備し、車で市内へ流入する観光客を取り込む。ここを第1次・第2次産業の6次産業化による新たな特産物や土産物の販売ルートとして位置づけるほか、福井県全体の観光コンシェルジュ機能も付加することで、交流人口の拠点としても位置づける。
- ・歴史的建造物の保存活用による、まちなかの魅力創造
- ・観光まちづくり会社設立への支援
- ・若者の起業に対する様々な支援
- ・勝山ブランド商品の確立（農林水産物、雪室ブランド等）
- ・新たなものづくりへの支援
- ・自然観察・体験、アウトドアスポーツの推進、アウトドアイベント支援

## 重点戦略3

### 人口の自然減対策・ひとづくり

#### 3. 縁結びから子育て・教育まで、充実した環境のなかで 次の世代を育てる

結婚を勧める地域力（おせっかい）を復活させ、まちぐるみで結婚しやすい環境を整える。

また、県内でもトップクラスの子育て施策や、ユネスコスクール、ESD教育、英語強化教育等をベースとして、美しい自然の中で豊かな人間性を育てる勝山市の特色ある教育を、これまで以上に積極的にPRし、教育面からも若い世代に選ばれる勝山市をめざす。

さらに、「郷土を愛し、誇れる心」を育てる教育を推進し、将来の勝山を担う次世代の育成につなげる。

##### 【施策例】

- ・婚活事業の強力なキャンペーンを行い、市民に婚活事業をPRして、意識啓発を図る（ハッピーカップルの体験紹介等）
- ・3大都市圏の未婚者をターゲットに情報発信、婚活事業を推進する
- ・エコ環境都市として“日本の原風景”を守る活動をまちの活性化資源に育てる
- ・出産・子育て支援策等での勝山市の優位性を内外に協力でPRする（∵あまり知られていない）
- ・地域医療・出産体制の充実を図る
- ・英語教育のさらなる強化・充実により、グローバルに活躍するとともに、将来的に勝山へ貢献できる人材を育てる

## 重点戦略4

### 人口の社会減対策・まちづくり

#### 4. いつまでも住み続けたい、安全安心で豊かな 地域コミュニティの中に「ワクワクするときめくまち」を創る

誰もが快適で文化的、かつ安心で安全な市民生活を送ることができ、「ワクワクするまち」を創ることにより、何度でも訪れたい、いつまでも住み続けたい、いつか帰ってきたくなる、ときめきにあふれた勝山を創造していく。

##### 【施策案】

- ・総合的防災体制の構築
- ・健康長寿の推進
- ・高齢者の支援体制の充実
- ・利用しやすいバス体系の整備利用促進
- ・除雪体制の確立
- ・公共施設・インフラの長寿命化を図る

## ②基本戦略

### ・第5次勝山市総合計画との関連性

国が示す「まち・ひと・しごと総合戦略」の考え方は、勝山市がこれまで第5次総合計画で展開してきた施策の延長線上に位置している。

重点戦略に取り上げた施策以外で、国の基本目標に合致しているものを第5次総合計画からピックアップし、整理・列挙する。

### 基本的視点

#### ①新しい人の流れ

- ・官学連携事業の推進による人的交流の活性化
- ・ふれあい市民への情報提供による交流人口の増加
- ・ジオツーリズムを充実させるための組織の構築
- ・学生合宿や教育旅行などの誘致促進

#### ②雇用の創出

- ・地元企業への支援を充実させる
- ・恐竜やジオパークに関連する土産物等に対する支援
- ・海外からの誘客推進のための情報発信力の強化
- ・広域観光等、他地域との連携によるPR強化
- ・農林業振興に向けた支援
- ・企業の雇用促進に対する支援
- ・空き店舗、空き工場、遊休地などの有効活用

#### ③ひとづくり

- ・市民に勝山市の文化・歴史を学ぶ様学習機会を提供し、郷土への愛着を強めてもらう
- ・生涯学習や地域活動を通じ、次のまちづくりを支えるリーダーを育成する

#### ④まちづくり

- ・安定した水処理システムを維持管理する
- ・美しい自然を守るため環境保全・保護・美化活動の推進
- ・消防および救急体制の充実を図る
- ・新体育館や市営プールを活かした健康づくり活動の推進
- ・市民のまちづくり活動への支援による地域力の向上